



刈谷の



刈谷ですてきな活動をしている人を紹介します！



第73回NHK杯全国高校放送コンテスト 愛知県大会 アナウンス部門 優良

に わ な な み
丹羽 那奈実さん

プロフィール

野田新町在住、刈谷北高校3年生。放送部に所属し、休日は家で猫と遊んだり、音楽を聴いたりして過ごす。



上達する楽しさ

全国の高校生が放送技術や表現力を競い合うNHK杯全国高校放送コンテスト。アナウンス部門で県大会を勝ち抜き、全国大会への切符を手にした丹羽さんは、「上達を感じられるのが楽しくて、気付いたら放送活動にのめり込んでいた」と話します。

放送部では、発声やアナウンスの練習のほかに、お昼の時間に校内放送を行っています。校内の出来事や先生へのインタビューなど、身近な話題を中心としており、「ただ読むだけでなく、相手に伝わるように、情報量や内容によって声色やペースを調整している」と工夫を凝らす丹羽さん。学外での取材を行うこともあり、「その人の意気込みや思いを必ず入れるようにしている」とこだわりを持っています。自身の強みは、基礎がしっかりしていること。「これまで、部活がない日も家で発声練習を続けてきた。練習を怠ると感覚がなまってしまう」と継続することの大切さを話します。

積み重ねた努力が結果に

アナウンス部門は、自身が作成した原稿の内容も審査対象となるため、「起承転結を意識し、飽きない内容になるように何度も修正して練習することが大変だった」と完成までの道のりを振り返ります。全国大会には、昨年も先輩が出場しており、「先輩に続かないと、とプレッシャーを感じたり、不安になったりした時期もあった。先輩のアナウンスの録音を聞いて、自分も頑張ろうと切り替えた」と、自身を鼓舞して乗り越えました。迎えた当日は「緊張のあまりガチガチでしたが、明るい声で読めるように笑顔を手掛けた」とベストを尽くしました。

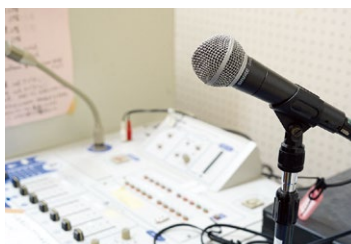
周りへの感謝を忘れず

全国大会を控えた今、「実際にアナウンスするのは私一人ですが、部活の仲間や先生など多くの人の支えがあってこそ全国の舞台に立つことができるということを忘れずに、まずは予選を突破したい」と意気込みます。「3年間で培った表現力や経験は、きっと今後の人生にも生きるはず」と話す丹羽さんの表情からは、放送活動を通して確かな努力を重ねてきた自信が感じられました。

★輝く人の原動力！

思い出が詰まった放送室

校内放送を行ったり、部員とおしゃべりしたり、楽しい思い出ばかり。



取材で足を運んだカリココ

イベントの取材に行くなど、活動する上で欠かせない場所です。

